



令和2年度

第5回 吹田市地域公共交通会議

千里山地区等乗合交通試験運行実施計画(案)

吹田市



千里山地区等乗合交通試験運行実施計画(案) の内容について

	内容
1	運行ルート設定の考え方、導入車両について、
2	停留所設定の考え方、始発バス停、バス停名称について
3	運行時間、運行間隔、運行便数、運行ダイヤ(案)
4	運賃
5	試験運行の指標について



千里山地区等乗合交通試験運行実施計画（案）

1-1. 運行ルート設定の考え方

- ①公共交通空白地を経由する。
- ②千里山駅、南千里駅及び緑地公園駅を経由する。
- ③一周あたりの所要時間は1時間程度とする。
- ④できる限り小型バスの導入が望まれている地域(千里山西、千里山竹園)を経由する。
- ⑤できる限り需要の高い商業施設等(イオン南千里、南千里駅周辺施設)を経由する。
- ⑥バスが安全に通行できる道路幅員を確保する。
 - ・ 道路幅員(通常道路)^{※1}: 5.66m以上(内車道の幅員は4.66m以上)
 - ・ 道路幅員(一方通行とされている道路)^{※2}: 3.58m以上(内車道の幅員は2.58m以上)
 - ・ 直角旋回占有幅^{※3}: 4.2m以上
- ⑦平成30年度実証実験バスの運行ルートを基本とする(改善案)。
 - ※1 車道の幅員: バスの幅員(2.08m) × 2 + 0.5
道路幅員: 車道の幅員(4.66m) + 通行人が歩行するスペース(1.00m)
 - ※2 車道の幅員: バスの幅員(2.08m) + 0.5
道路幅員: 車道の幅員(2.58m) + 通行人が歩行するスペース(1.00m)
 - ※3 バスが直角に曲がる際に必要となる曲がり先の車道の幅員

1-2. 導入車両について

【導入車両】

- ◆平成30年度の実証実験においては1便あたりの平均乗車人数は9.6人～28.2人であった。そのため、車両規模としては、小型または中型のバス車両を用いることが望ましい。また、利用者の乗降のしやすさ、車いすでの利用や高齢者等に配慮したバリアフリー仕様のノンステップタイプとし、かつ環境にも配慮した車両を導入する。
- ◆導入車両はすいすいバスと同等の車両(日野ポンチョ)を用いることが適切であると考えられる。

(第1回吹田市地域公共交通会議で確認)

【すいすいバス】



【導入車両の諸元】

項目		日野ポンチョ (ショートボディ)
車体寸法	全長(m)	6.290
	全幅(m)	2.080
	全高(m)	3.100
	ホイールベース(m)	4.125
最小回転半径(m)		6.700 (必要幅員 4.240)
適用最低道路幅員(m)		3.580
乗車定員(人) 【座席+立席+乗務員】		29 【10+18+1】
バリアフリー対応		ノンステップエリア座席数6人 車いす用スロープ板(着脱式) 車椅子1台(車いす固定装置有り)
外観図		



1-3. 運行ルート(案)

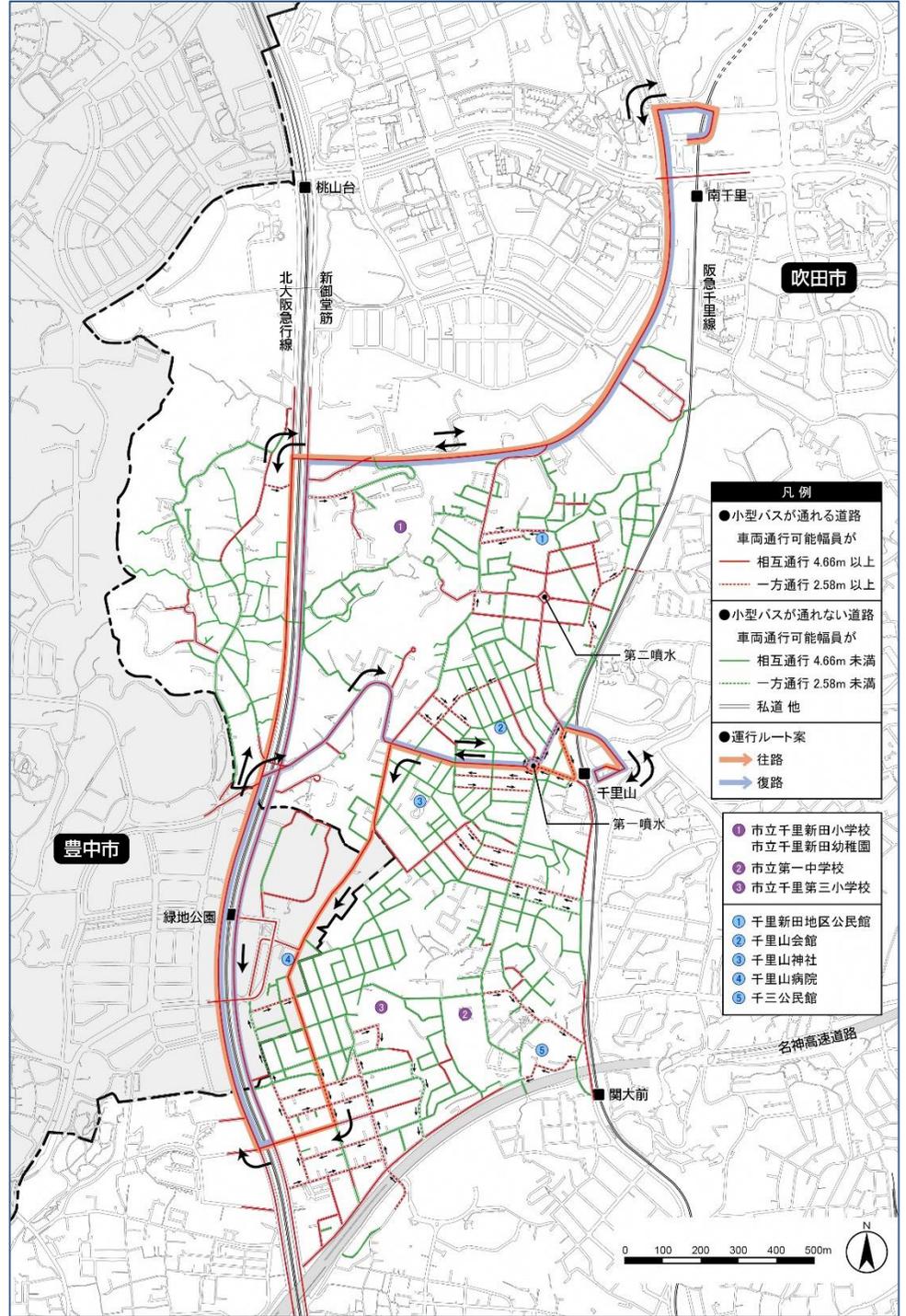


図-1 千里山地区等乗合交通試験運行ルート(案)



2-1. 停留所設定の考え方

- ①千里山駅、南千里駅及び緑地公園駅に停車する。
- ②上記の駅間を結ぶルート上にある、需要の高い商業施設に停車する。
- ③バス停留所の間隔は300mから500mを基本とする。
- ④乗客が安全に乗降できる位置に設置する(具体的には以下の条件を想定)
 - 乗客が歩道(路側帯のみなし歩道を含む)に直接乗降できる。
 - 乗客がバスを安全に待つことができる
 - バスを待つ乗客が歩行者の交通の妨げにならない
- ⑤平成30年度実証実験バスの停留所を基本とし、関係機関(警察、地先、道路管理者)と協議の上決定する。

2-2. 停留所(案)

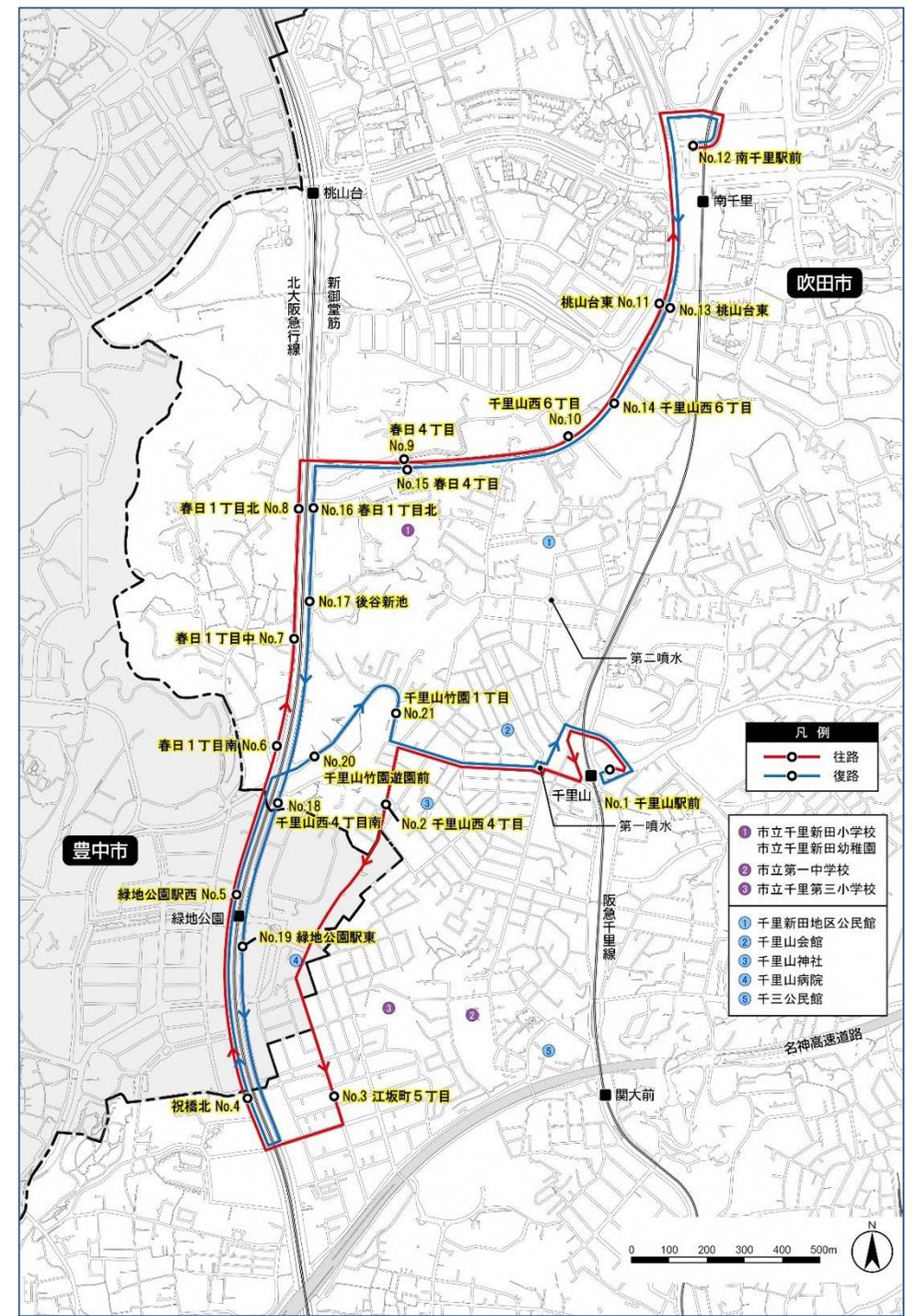


図-2 千里山地区等乗合交通試験運行の停留所(案)



3-1. 運行時間、運行間隔、運行便数

○運行時間:8時台～18時台までの運行

利用者像の想定をふまえ、通院・買い物等の日常生活での利用を想定した運行時間帯とする。

○運行便数:11便

○運行間隔:所要時間は1周60分程度の運行ピッチ

○運休日:1月1日～3日

運休日は、すいすいバスと同様に1月1日～3日までとする。

3-2. 運行ダイヤ(案)の考え方

○始発バス停であるバス停No.1千里山駅は阪急バス(株)とバス停を共有する。
そのため、お互いに干渉しない時間に設定する。

○豊中市は東西軸路線運行として、令和3年4月1日から緑地公園駅～曾根駅～イオンモール伊丹を結ぶ路線を阪急バスの一般路線として運行予定。
そのため、東西軸路線と千里山地区コミュニティバスの接続位置である緑地公園駅での乗継状況を確認する。

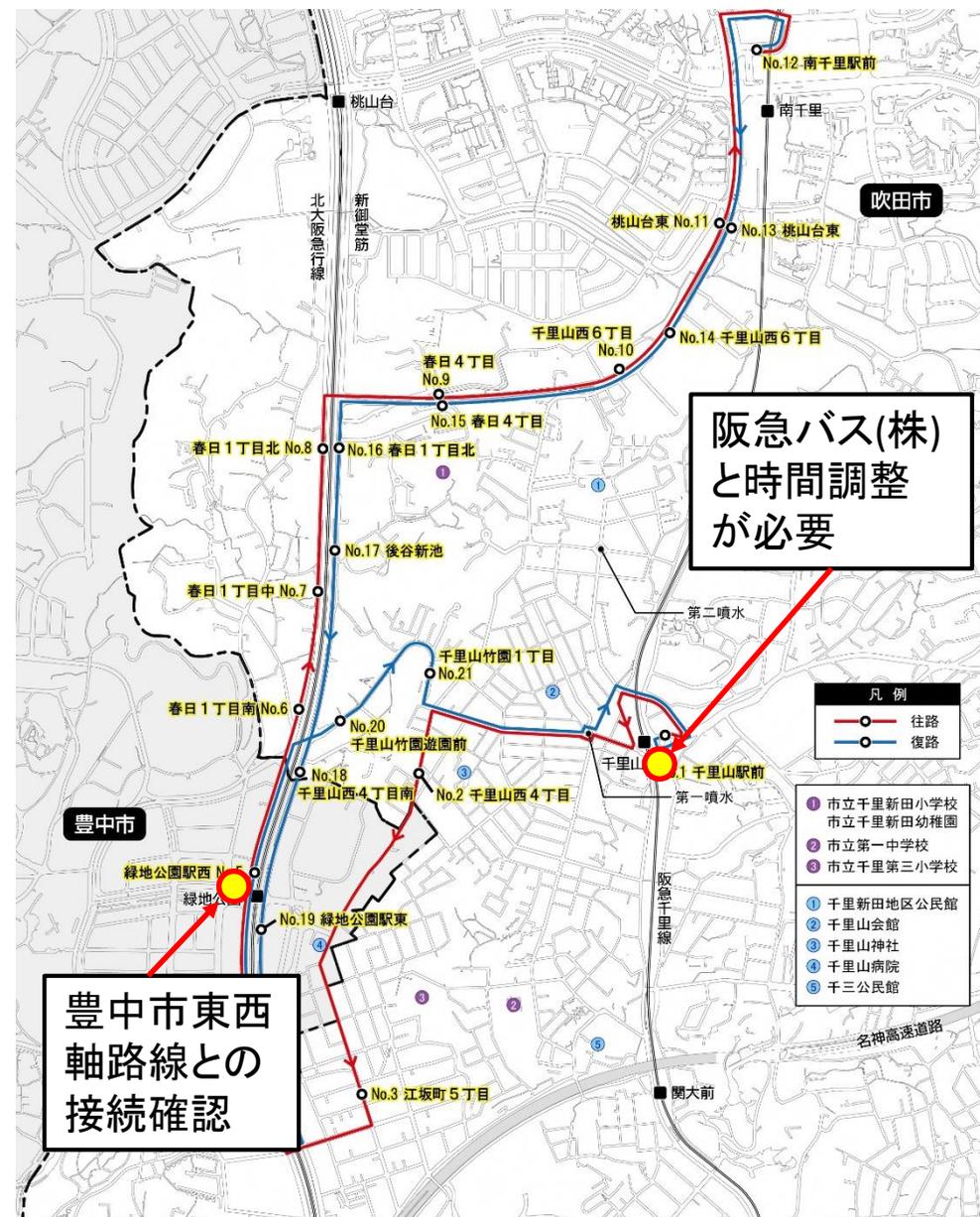


図-3 千里山地区等乗合交通試験運行のダイヤ(案)の検討事項

3-3. 運行ダイヤ(案)



番号	停留所	始発	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	終発
1	千里山駅前	8:03	9:03	10:03	11:03	12:03	13:03	14:03	15:03	16:03	17:03	18:03
2	千里山西4丁目	8:06	9:06	10:06	11:06	12:06	13:06	14:06	15:06	16:06	17:06	18:06
3	江坂町5丁目	8:10	9:10	10:10	11:10	12:10	13:10	14:10	15:10	16:10	17:10	18:10
4	祝橋北	8:12	9:12	10:12	11:12	12:12	13:12	14:12	15:12	16:12	17:12	18:12
5	緑地公園駅西	8:14	9:14	10:14	11:14	12:14	13:14	14:14	15:14	16:14	17:14	18:14
6	春日1丁目南	8:17	9:17	10:17	11:17	12:17	13:17	14:17	15:17	16:17	17:17	18:17
7	春日1丁目中	8:18	9:18	10:18	11:18	12:18	13:18	14:18	15:18	16:18	17:18	18:18
8	春日1丁目北	8:19	9:19	10:19	11:19	12:19	13:19	14:19	15:19	16:19	17:19	18:19
9	春日4丁目	8:22	9:22	10:22	11:22	12:22	13:22	14:22	15:22	16:22	17:22	18:22
10	千里山西6丁目	8:24	9:24	10:24	11:24	12:24	13:24	14:24	15:24	16:24	17:24	18:24
11	桃山台東	8:26	9:26	10:26	11:26	12:26	13:26	14:26	15:26	16:26	17:26	18:26
12	南千里駅前	8:31	9:31	10:31	11:31	12:31	13:31	14:31	15:31	16:31	17:31	18:31
13	桃山台東	8:37	9:37	10:37	11:37	12:37	13:37	14:37	15:37	16:37	17:37	18:37
14	千里山西6丁目	8:38	9:38	10:38	11:38	12:38	13:38	14:38	15:38	16:38	17:38	18:38
15	春日4丁目	8:41	9:41	10:41	11:41	12:41	13:41	14:41	15:41	16:41	17:41	18:41
16	春日1丁目北	8:43	9:43	10:43	11:43	12:43	13:43	14:43	15:43	16:43	17:43	18:43
17	後谷新池	8:44	9:44	10:44	11:44	12:44	13:44	14:44	15:44	16:44	17:44	18:44
18	千里山西4丁目南	8:47	9:47	10:47	11:47	12:47	13:47	14:47	15:47	16:47	17:47	18:47
19	緑地公園駅東	8:48	9:48	10:48	11:48	12:48	13:48	14:48	15:48	16:48	17:48	18:48
4	祝橋北	8:51	9:51	10:51	11:51	12:51	13:51	14:51	15:51	16:51	17:51	18:51
5	緑地公園駅西	8:52	9:52	10:52	11:52	12:52	13:52	14:52	15:52	16:52	17:52	18:52
20	千里山竹園遊園前	8:54	9:54	10:54	11:54	12:54	13:54	14:54	15:54	16:54	17:54	18:54
21	千里山竹園1丁目	8:56	9:56	10:56	11:56	12:56	13:56	14:56	15:56	16:56	17:56	18:56
1	千里山駅前	8:58	9:58	10:58	11:58	12:58	13:58	14:58	15:58	16:58	17:58	18:58 終

※ダイヤは現時点の案であり、今後の協議等により変更することがあります。



4. 運賃

○受益者負担の原則に従い、先行事例(すいすいバス)をもとに、1乗車1回200円の有償運送とする。

○子ども(小学生以下)、身障者等の運賃はすいすいバスと同様とする。

・子ども(小学生以下): 1乗車1回100円

・身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている人: 半額(介護者1人も半額)

【運行事業者との協議が必要な事項】

○回数券の販売(すいすいバス: 12枚綴りの回数券の販売)

○阪急バスへの乗継割引乗車券の販売(すいすいバス: 乗り継ぎ割引乗車券の販売(350円 すいすいバスと阪急バス220円区間の乗車券セット))

5. 試験運行の指標について

○試験運行の際には、本格運行に入るための目安※¹をもって運行する。
本格運行に入るための目安は、すいすいバスの運行継続の基準である
収支率※²30%、乗車率※³60%とする。

※1 本格運行に入るための目安とは

2年間の試験運行の後、本格運行への移行の有無を市内部で判断することになるが、
上記指標は、市内部で総合的に判断する際の一つの基準となる。

※2 収支率とは

運行収入(運賃、車外広告料) ÷ 運行経費等(人件費、燃料費、事務費)

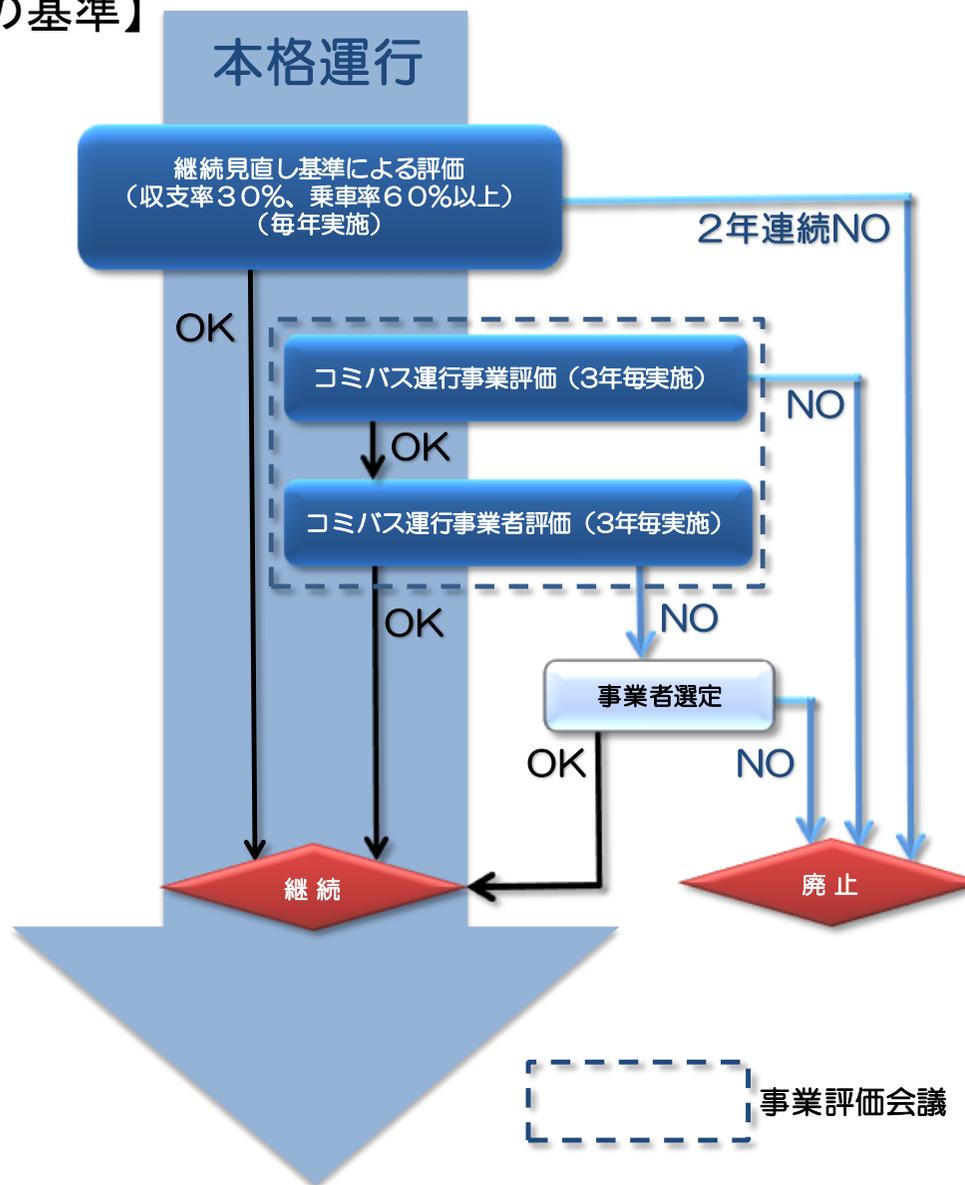
※3 乗車率とは

(1便あたりの利用者数) ÷ (バスの座席数)

日野ポンチョ(ショートタイプ): 10席(乗車定員は28名)

参考1 すいすいバスの運行継続の基準

【例 すいすいバスの基準】



参考2 試験運行から本格運行までのイメージフロー

